



平成 28 年 11 月 7 日

港湾局産業港湾課

**第 17 回北東アジア港湾局長会議および  
第 17 回北東アジア港湾シンポジウムの開催結果  
～日中韓の港湾関係者が港湾の発展のために意見交換を行いました～**

平成 28 年 11 月 3 日(木)～11 月 4 日(金)の間、韓国仁川市で「第 17 回北東アジア港湾局長会議」および「第 17 回北東アジア港湾シンポジウム」が開催されました。日中韓三国間の緊密な連携を促進し、三国の港湾の発展のために意見交換が行われましたので、結果について、以下の通りお知らせいたします。

### 1. 第 17 回北東アジア港湾局長会議（参考 1）

北東アジア港湾局長会議は、1995 年から 1999 年の間、年 1 回開催された日韓港湾局長会議をベースに、2000 年より中国が加わり拡大したもので、三国の港湾の発展のため港湾行政全般にわたり広範に意見交換を行うものであり、今回韓国仁川市で第 17 回北東アジア港湾局長会議が開催されました。

会議では、まず各国の代表から「港湾と都市の調和」をテーマとして報告があり、活発な意見交換が行われました。日本からは、我が国における港湾と都市の調和の取組等について紹介を行いました。

また、作業部会において取り組んでいる「日中韓における港湾法制度の比較研究」、「コンテナターミナルの効率的開発のための荷役能力の研究」、「北東アジアにおける港のにぎわいづくり」、「沿岸環境の変化と対策の効果」の四つのテーマについて報告が行われました。

なお、次回の第 18 回北東アジア港湾局長会議は、平成 29 年に中国で開催される予定です。

### 2. 第 17 回北東アジア港湾シンポジウム（参考 2）

局長会議翌日の 11 月 4 日には、第 17 回北東アジア港湾シンポジウムが開催されました。日中韓の官民の港湾関係者約 170 名が集まり、「グローバル環境の変化における港湾政策」及び「4 次産業革命と港湾」をテーマに三か国の専門家から発表があり、その後発表者と参加者による熱心な質疑がなされました。また、仁川港湾公社から仁川港の紹介がありました。

【問い合わせ先】国土交通省港湾局産業港湾課国際企画室 榊原、福永  
(代表)03-5253-8111 (直通)03-5253-8679 (内線)46469、46465 (FAX)03-5253-1651

## 第 17 回北東アジア港湾局長会議

(11月3日(木) 9:00-18:00 韓国・仁川市、キョンウォンジェ・アンバサダー仁川ホテル)

### 出席者

- 日本（国土交通省港湾局長 菊地 身智雄をはじめ 6 名）
- 中国（交通運輸部水運局副局長 姜 明宝をはじめ 6 名）
- 韓国（海洋水産部港湾局長 朴 升企をはじめ 17 名）

### 主要議事

(ア) 「港湾と都市の調和」をテーマとした情報交換

発表者：

日本) 国土交通省港湾局長 菊地 身智雄

・ 港湾と都市の調和

中国) 交通運輸部水運局副局長 姜 明宝 (Jiang, Mingbao)

・ Introduction of Integration of China's Ports and Cities

韓国) 海洋水産部港湾局長 朴 升企 (Park, Seung-geeg)

・ Development Plan for Harmonizing between Harbor and City

(イ) 共同研究の報告

以下の 4 つのテーマについて、進捗状況や現状報告を行い、意見交換を実施しました。

- ・ 日中韓における港湾法制度の比較研究（中国提案）
- ・ コンテナターミナルの効率的開発のための荷役能力の研究（韓国提案）
- ・ 北東アジアにおける港のにぎわいづくり（日本提案）
- ・ 沿岸環境の変化と対策の効果（中国・韓国・日本合同）

(ウ) 第 18 回北東アジア港湾局長会議

開催時期、開催場所などについて意見交換を行いました。

(エ) 仁川港の紹介

仁川港湾公社 ディレクター Lee, Won-Hong 氏より「THE FIRST PORT TO SUCCESS - Incheon Port」と題した発表が行われました。

### 議事録署名

上記内容について 3 国間で署名しました。

### 今後の予定

来年、第 18 回北東アジア港湾局長会議を中国で開催する予定です。

## 第17回北東アジア港湾シンポジウム

(11月4日(金) 13:00-18:00 韓国・仁川市、セントラルパークホテル・ソンド)

### 参加者

日中韓の官民の港湾関係者合わせて約170名

(日本側 約40名、中国側 約20名、韓国側 約110名)

### プレゼンテーション

○第1部「Port Policy against Changes in Global Circumstance (グローバル環境の変化における港湾政策)」

- ・事例発表1 中国：南京港(集団)有限公司 副ジェネラルマネージャー GE, Hongjun 氏  
「The Effect of Environmental Change on the Port and Coping Strategies」
- ・事例発表2 日本：京都大学防災研究所 教授 小野 憲司 氏  
「Port policy development toward the new global business environment」
- ・事例発表3 韓国：韓国海洋水産開発院 ディレクター Kim, Geun Sub 氏  
「Port policy against changes in global circumstance」

○第2部「4th Industrial Revolution and Port (4次産業革命と港湾)」

- ・事例発表4 中国：南通港口集团有限公司 Chen, Yong 氏  
「Seize the opportunity and meet the challenge, promote the development of the ports' transformation」
- ・事例発表5 日本：一般財団法人港湾空港総合技術センター 理事 大野 正人 氏  
「i-Constructon project : Productivity improvement of the port construction using ICT」
- ・事例発表6 韓国：韓国海洋水産開発院 ディレクター Choi, Sang-Hei 氏  
「Application of Port & Logistics by New Technology」

○「仁川港の紹介」：仁川港湾公社 ディレクター Lee Won-Hong 氏

## 第17回北東アジア港湾局長会議（11月3日開催）



（日本菊地港湾局長、韓国朴港湾局長、中国姜水運局副局長）

## 第17回北東アジア港湾シンポジウム(11月4日開催)



（左：発表される小野教授、右：発表される大野理事）



（シンポジウム会場の模様）